



平成25年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年5月7日

上場取引所 大 札

上場会社名 株式会社ダイイチ

コード番号 7643 URL <http://www.daiichi-d.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 鈴木 達雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画IR兼経理担当

(氏名) 川瀬 豊秋

TEL 0155-38-3456

四半期報告書提出予定日 平成25年5月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第2四半期の連結業績(平成24年10月1日～平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第2四半期	16,136	2.2	488	19.5	468	23.7	297	28.4
24年9月期第2四半期	15,792	5.7	408	3.3	379	4.1	231	23.1

(注) 包括利益 25年9月期第2四半期 311百万円 (35.6%) 24年9月期第2四半期 229百万円 (20.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第2四半期	74.44	—
24年9月期第2四半期	57.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年9月期第2四半期	14,354	5,722	39.9	1,431.42
24年9月期	14,456	5,470	37.8	1,368.48

(参考) 自己資本 25年9月期第2四半期 5,722百万円 24年9月期 5,470百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	—	0.00	—	15.00	15.00
25年9月期	—	0.00	—	—	—
25年9月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年9月期の連結業績予想(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,309	2.2	813	4.7	755	4.7	415	8.0	103.86

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年9月期2Q	4,003,320 株	24年9月期	4,003,320 株
② 期末自己株式数	25年9月期2Q	5,829 株	24年9月期	5,829 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年9月期2Q	3,997,491 株	24年9月期2Q	3,997,491 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9
(7) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成24年10月1日～平成25年3月31日)におけるわが国経済は、昨年春からの景気後退局面が昨年未だに底を打ち、年明け以降、海外経済の回復や円安を背景とした輸出の増加、引き続き堅調に推移した住宅投資と公共投資などにより、景気は緩やかながら拡大の兆しが見られました。

当社グループ(当社及び連結子会社)を取り巻くスーパーマーケット業界は、個人の所得環境が改善されない中で、電気料金の値上げなど生活コストの上昇、食品や日用品などの生活必需品に対する低価格志向の高まり、業態の垣根を越えた価格競争の激化などにより、引き続き厳しい経営環境にありました。

このような経営環境のもとで当社グループは、食品を中心に地域に密着したスーパーマーケットとして、お客様からの高い支持と信頼をいただけるよう、安心して安全な商品を提供し続けるとともに、経営情報の積極的な収集による業績の向上、現地・現場主義の徹底による店舗運営の強化、人材の成長による競合店対策の強化、新店舗の開発とリニューアルの推進、従業員教育の充実によるサービスレベルの向上などに、スピードを上げてチャレンジしてまいりました。

また、先を見据えた各種の計画立案や売場への具現化を実践し、販売実績の向上や生産性の改善を継続しております。

当四半期末現在の店舗数は、帯広ブロック10店舗(青果専門店1店舗を含む)、旭川ブロック8店舗、札幌ブロック3店舗、合計21店舗であります。

地域別の売上高につきましては、帯広ブロックは73億21百万円(前年同期比0.8%減)、旭川ブロックは55億41百万円(前年同期比0.8%減)、札幌ブロックは32億67百万円(前年同期比15.9%増)となりました。

売上高総利益率につきましては、価格競争が激化する中で、ロスの削減や仕入の見直しによるコストダウンを図り、前年同期に比べ0.4ポイント改善し、23.5%となりました。

コストコントロールにつきましては、作業計画と連動した労働時間管理や、LED化に伴う電気料金の削減を進めるほか、様々な形で経営資源の適正配分に努めました。

この結果、販売費及び一般管理費は、連結全体で前年同期に比べ53百万円増加いたしました。売上高に対する比率は22.0%となり、前年同期に比べ、0.1ポイント改善いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は161億36百万円(前年同期比2.2%増)、営業利益は4億88百万円(前年同期比19.5%増)、経常利益は4億68百万円(前年同期比23.7%増)、四半期純利益は2億97百万円(前年同期比28.4%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1億2百万円減少の143億54百万円となりました。流動資産においては、主に売掛金の増加31百万円、商品及び製品の増加28百万円、現金及び預金の増加19百万円等に対し、その他の減少61百万円により前連結会計年度末に比べ19百万円増加の21億3百万円となりました。固定資産においては、投資その他の資産の増加57百万円に対し、建物の減少1億17百万円及び有形固定資産のその他の減少48百万円等により、前連結会計年度末に比べ1億21百万円減少の122億50百万円となりました。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ3億53百万円減少の86億32百万円となりました。流動負債においては、主に買掛金の増加1億33百万円、短期借入金の増加50百万円等に対し、賞与引当金の減少66百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少30百万円等により、前連結会計年度末に比べ1億14百万円増加の41億29百万円となりました。固定負債においては、退職給付引当金の増加7百万円、役員退職慰労引当金の増加5百万円等に対し、長期借入金の減少4億6百万円、その他の減少74百万円により、前連結会計年度末に比べ4億67百万円減少の45億2百万円となりました。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2億51百万円増加の57億22百万円となりました。これは主に、利益剰余金2億37百万円の増加によるものです。この結果、自己資本比率は39.9%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年11月6日の「平成24年9月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年10月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	659,019	678,674
売掛金	164,191	195,512
商品及び製品	862,735	890,781
原材料及び貯蔵品	2,571	4,288
その他	396,477	335,384
貸倒引当金	△1,500	△1,500
流動資産合計	2,083,495	2,103,141
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	4,181,103	4,063,578
土地	5,853,504	5,853,504
その他(純額)	676,074	627,820
有形固定資産合計	10,710,682	10,544,903
無形固定資産		
その他	15,494	15,494
無形固定資産合計	15,494	15,494
投資その他の資産		
敷金及び保証金	731,276	717,946
その他	915,374	972,623
投資その他の資産合計	1,646,651	1,690,569
固定資産合計	12,372,828	12,250,967
資産合計	14,456,323	14,354,109
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,821,641	1,954,866
短期借入金	30,000	80,000
1年内返済予定の長期借入金	859,304	829,196
未払法人税等	166,576	165,203
賞与引当金	173,726	106,894
その他	963,673	992,909
流動負債合計	4,014,921	4,129,069
固定負債		
長期借入金	3,399,869	2,993,459
退職給付引当金	492,981	500,591
役員退職慰労引当金	166,864	172,188
資産除去債務	15,377	15,475
その他	895,808	821,248
固定負債合計	4,970,900	4,502,963
負債合計	8,985,821	8,632,032

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	840,455	840,455
資本剰余金	767,302	767,302
利益剰余金	3,872,592	4,110,206
自己株式	△2,748	△2,748
株主資本合計	5,477,601	5,715,214
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△7,099	6,861
その他の包括利益累計額合計	△7,099	6,861
純資産合計	5,470,502	5,722,076
負債純資産合計	14,456,323	14,354,109

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
売上高	15,792,853	16,136,508
売上原価	12,137,699	12,346,289
売上総利益	3,655,153	3,790,219
営業収入	249,632	247,723
営業総利益	3,904,786	4,037,943
販売費及び一般管理費	3,496,022	3,549,634
営業利益	408,764	488,308
営業外収益		
受取利息	5,315	5,664
受取配当金	2,394	1,384
その他	3,457	6,763
営業外収益合計	11,166	13,812
営業外費用		
支払利息	40,311	32,045
その他	570	1,197
営業外費用合計	40,881	33,242
経常利益	379,049	468,878
特別利益		
固定資産売却益	5,530	—
特別利益合計	5,530	—
税金等調整前四半期純利益	384,580	468,878
法人税、住民税及び事業税	114,162	139,483
法人税等調整額	38,737	31,819
法人税等合計	152,900	171,302
少数株主損益調整前四半期純利益	231,679	297,575
四半期純利益	231,679	297,575

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	231,679	297,575
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,912	13,961
その他の包括利益合計	△1,912	13,961
四半期包括利益	229,767	311,536
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	229,767	311,536
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	384,580	468,878
減価償却費	232,416	248,619
賞与引当金の増減額(△は減少)	△63,906	△66,832
退職給付引当金の増減額(△は減少)	3,676	7,610
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6,341	5,324
受取利息及び受取配当金	△7,709	△7,048
支払利息	40,311	32,045
有形固定資産売却損益(△は益)	△5,530	—
売上債権の増減額(△は増加)	△31,636	△31,320
たな卸資産の増減額(△は増加)	△69,373	△29,764
その他の資産の増減額(△は増加)	49,686	47,887
仕入債務の増減額(△は減少)	274,681	133,225
未払消費税等の増減額(△は減少)	△66,042	24,697
その他の負債の増減額(△は減少)	13,105	△93,982
小計	760,599	739,340
利息及び配当金の受取額	2,558	1,877
利息の支払額	△39,963	△31,681
法人税等の支払額	△232,553	△140,396
営業活動によるキャッシュ・フロー	490,640	569,139
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△16,101	△13,101
定期預金の払戻による収入	54,000	30,000
有形固定資産の取得による支出	△62,929	△65,030
有形固定資産の売却による収入	165,682	50,000
投資有価証券の取得による支出	△50,000	—
建設協力金の支払による支出	△120,440	—
建設協力金の回収による収入	21,194	22,200
敷金及び保証金の差入による支出	△161,385	△31,585
敷金及び保証金の回収による収入	5,724	10,053
投資活動によるキャッシュ・フロー	△164,254	2,537
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	440,000	—
長期借入金の返済による支出	△427,410	△436,518
短期借入金の純増減額(△は減少)	△120,000	50,000
リース債務の返済による支出	△67,665	△88,815
配当金の支払額	△59,944	△59,790
財務活動によるキャッシュ・フロー	△235,019	△535,123
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	91,366	36,553
現金及び現金同等物の期首残高	725,229	557,523
現金及び現金同等物の四半期末残高	816,596	594,076

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

当グループ(当社及び連結子会社)は、食料品主体のスーパーマーケット事業及びこれらの付帯業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。